

揚輝荘の概要（現況）

はじめに

揚輝荘は、大正・昭和初期に松坂屋初代社長・伊藤次郎左衛門祐民が建設した名古屋郊外別荘の代表作で、文化人や政財界の社交場、アジアからの留学生の学舎としても機能しました。平成 19 年に庭園と歴史的建造物が名古屋市に譲渡され、市は平成 19 年度に「揚輝荘基本構想」を策定、南園の聴松閣を復原し平成 25 年に公開しました。しかし、その後の整備や維持管理が進まず課題が残りました。そこで令和 3 年度には有識者懇談会を設置し、現状や課題を精査、令和 4 年度に「揚輝荘整備基本方針」を策定しました。また、令和 5 年度には北園・南園の調査や、民間活力導入の検討を行い、「揚輝荘整備計画」を策定する等、保存と活用に向けた取り組みが進められています。

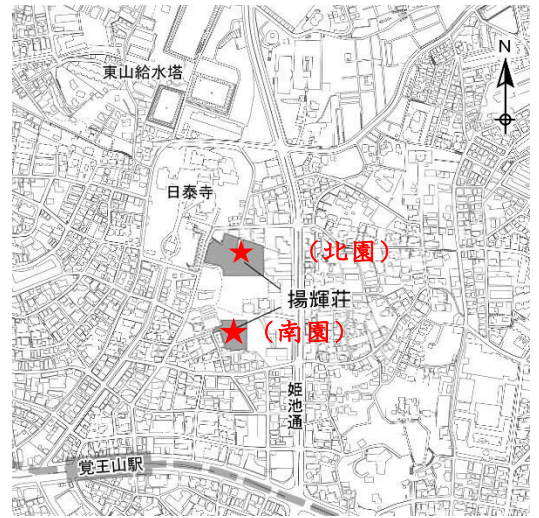
揚輝荘に関する詳細は公式 HP (<https://www.yokiso.com/>) もご参照ください。

目次

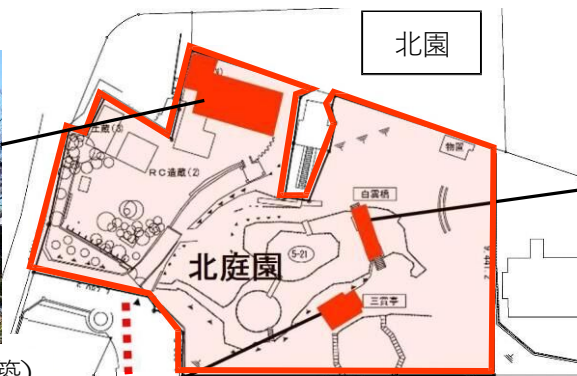
はじめに	1
1. 揚輝荘の施設概要	2
2. 立地条件	3
（ア）都市計画	3
（イ）公開空地	3
3. 管理状況	3
4. 周辺環境	4
（ア）揚輝荘の位置と周辺施設	4
（イ）地形・地質	4
5. 利用状況	5
6. 揚輝荘周辺で行われているイベント	5
7. 市民ニーズ	6

1. 揚輝荘の施設概要

所在地	千種区法王町2丁目5番地の17（南園） 千種区法王町2丁目5番地の21（北園）		
位置づけ	名古屋市指定有形文化財（H20）5棟 （聴松閣、揚輝荘座敷、伴華楼、三賞亭、白雲橋）		
建築年	大正7年～昭和14年		
敷地面積	2,750.14㎡（南園） 6,527.23㎡（北園）		
床面積	聴松閣 750.05㎡ 座敷 288.43㎡	伴華楼 409.99㎡ 三賞亭 45.09㎡ 白雲橋 22.24㎡	
建物概要	(株)松坂屋初代社長の伊藤次郎左衛門祐民により、大正から昭和初期にかけて建設された本市郊外別荘の代表作		



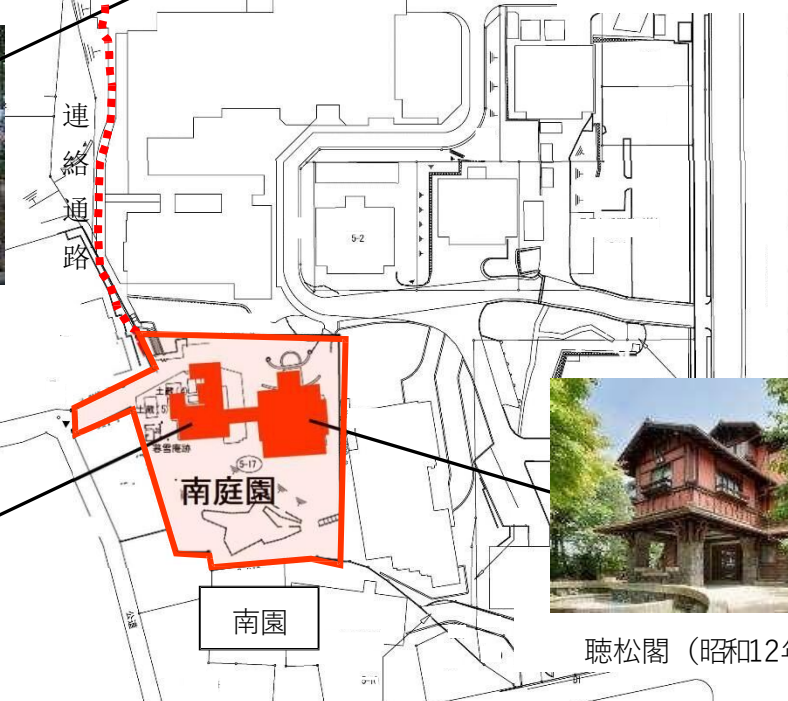
伴華樓（昭和4年移築・増築）



白雲橋（大正7年頃新築）



三賞亭 (大正7年移築)



座敷（大正8年移築）



聴松閣（昭和12年新築）

2. 立地条件

(ア) 都市計画

揚輝荘に関わる都市計画は以下の通りです。

- ・市街化区域
- ・第1種中高層住居専用地域（建ぺい率 60%、容積率 200%）
- ・15m高度地区
- ・準防火地域
- ・都市機能誘導区域、居住誘導区域
- ・緑化地域

(イ) 公開空地

揚輝荘の敷地は隣接するマンション（グランドヒルズ覚王山法王町）の敷地外公開空地となっています。また、マンション開発にあたり、建築基準法第59条の2に基づく総合設計制度を活用することで、約 9,200 m²の庭園と建物が残されました。

（H17.2.9 許可）

3. 管理状況

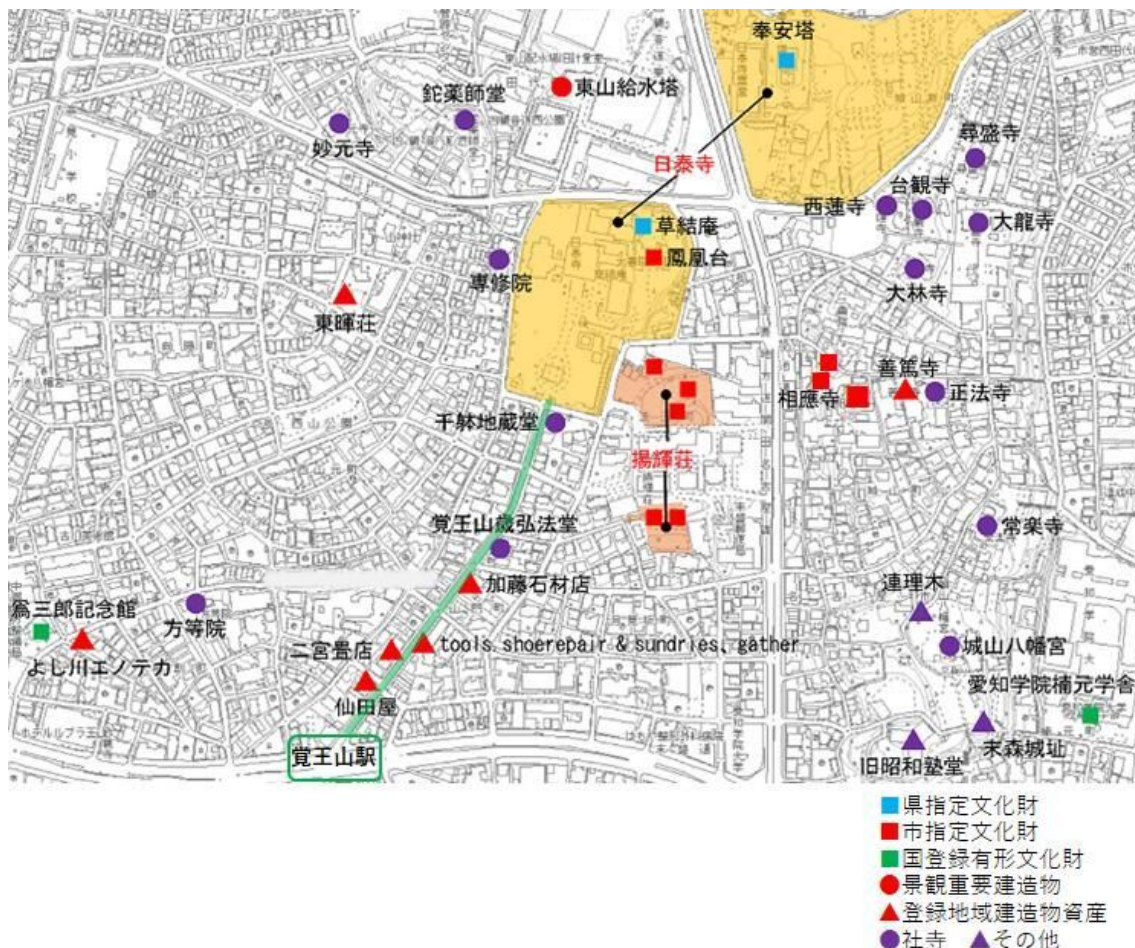
北園の暫定公開を平成 19 年度から開始し、平成 25 年度からは指定管理に移行、南園の管理運営業務を行うとともに付帯業務として北園の管理運営業務を行っています。

期間	事業者名
平成 19 年度～平成 21 年度	財団法人 名古屋都市整備公社
平成 22 年度～平成 24 年度	NPO 法人 揚輝荘の会
平成 25 年度～令和 4 年度	NPO 法人 揚輝荘の会
令和 5 年度～令和 9 年度	城山・覚王山歴史文化の杜まちづくり共同体（構成団体：公益財団法人名古屋まちづくり公社、公益財団法人名古屋市みどりの協会）

4. 周辺環境

(ア) 揚輝荘の位置と周辺施設

揚輝荘は名古屋駅からおよそ 7km 東の市街地に位置し、地下鉄東山線覚王山駅を最寄り駅とし、日泰寺をはじめとする寺社や近代建築が点在する住宅地にあります。



(イ) 地形・地質

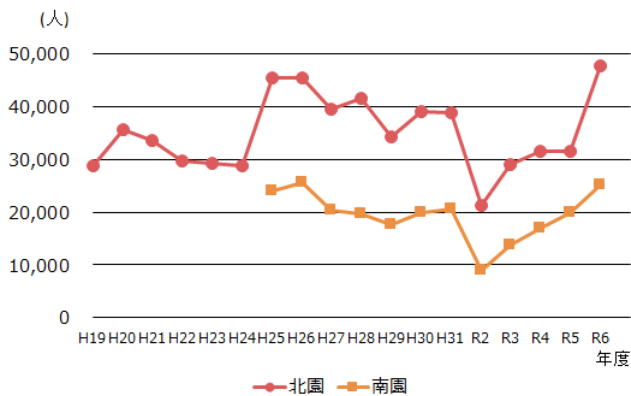
揚輝荘周辺の地形は、本山の交差点を中心に放射状に広がる沖積低地とその周囲を取り囲む丘陵地・台地で構成されています。東部丘陵の始まりにあたり、揚輝荘が築かれた覚王山の地は江戸時代から月見坂として親しまれた名勝地のひとつでした。

地質は、第四紀更新世の八事・唐山層が分布しており、八事・唐山層とは、チャート为主とする砂礫で、ホルンフェルス、砂岩等の礫も含まれる礫は円磨された中礫が多く、本層中に粘性土層や砂層が挟まれています。風化作用によって、チャート礫は表面が白色になり、基質は鉄分で赤褐色になっています。

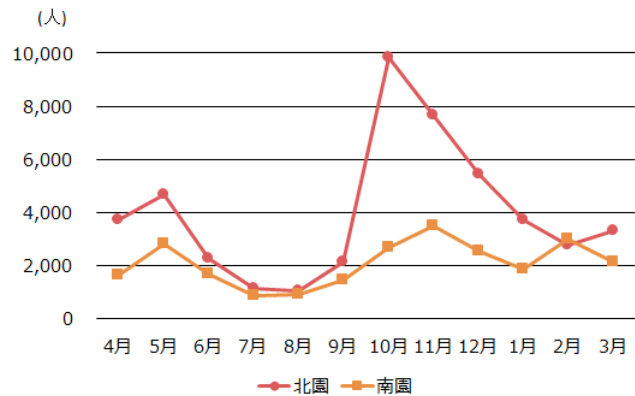
5. 利用状況

コロナ感染症の蔓延により令和2年度は利用者が半減しましたが、コロナ禍以降の利用者数は増加基調であり、令和6年度は北園4万8千人程度、南園2万5千人程度となっています。月別では紅葉の時期である10月～12月が最も多く、次いで新緑の時期である4月～5月の利用者数が多い状況です。

揚輝荘利用者数の推移



揚輝荘月別利用者数(令和6年度)



6. 揚輝荘周辺で行われているイベント等

催事名	内容【開催場所】	開催頻度
弘法縁日	覚王山駅から日泰寺まで参道にグルメや雑貨の出店が並ぶ。【日泰寺参道、日泰寺】	年12回
覚王山祭	昔ながらのゲームや、飲食ブースが並び、ステージでは音楽やダンス・伝統芸能が街を賑やかす。 【日泰寺参道】	年3回
覚王山まちの芸術祭	野外展示、商店を展示場所にしたインスタレーションなど、日常の覚王山の風景を、アートを通して楽しくするお祭り。【日泰寺参道】	年1回
やまのて音楽祭	地域の魅力を発信する「まちづくり」を目的に、2003年から市民の手作りで開催。 【覚王山周辺の寺院、カフェ、ホール等】	年1回
ちくさ・文化の里づくりの会秋企画・お月見コンサート	現在のお月見スポットをめぐり、日泰寺でお月見と音楽を楽しむイベント。【城山八幡宮～正法寺～相応寺～奉安塔～日泰寺】	年1回
お屋敷スタンプラリー	レトロとロマンを感じる名古屋のお屋敷に入館してスタンプを集める。【揚輝荘ほか】	不定期

7. 市民ニーズ

揚輝荘に対するイメージや期待度を把握することを目的として令和5年に3種類のアンケートを実施しました。

【調査 A】 ネットアンケート（R5.7 実施）

対象者：18 歳以上の愛知県、岐阜県、三重県民 600 人

居住地区分：千種区民 200 人、その他名古屋市民 200 人、名古屋市外 200 人

年齢区分：30 歳未満、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上各 100 人

【調査 B】 ②揚輝荘・類似施設利用者アンケート（R5.9.16～10.15）

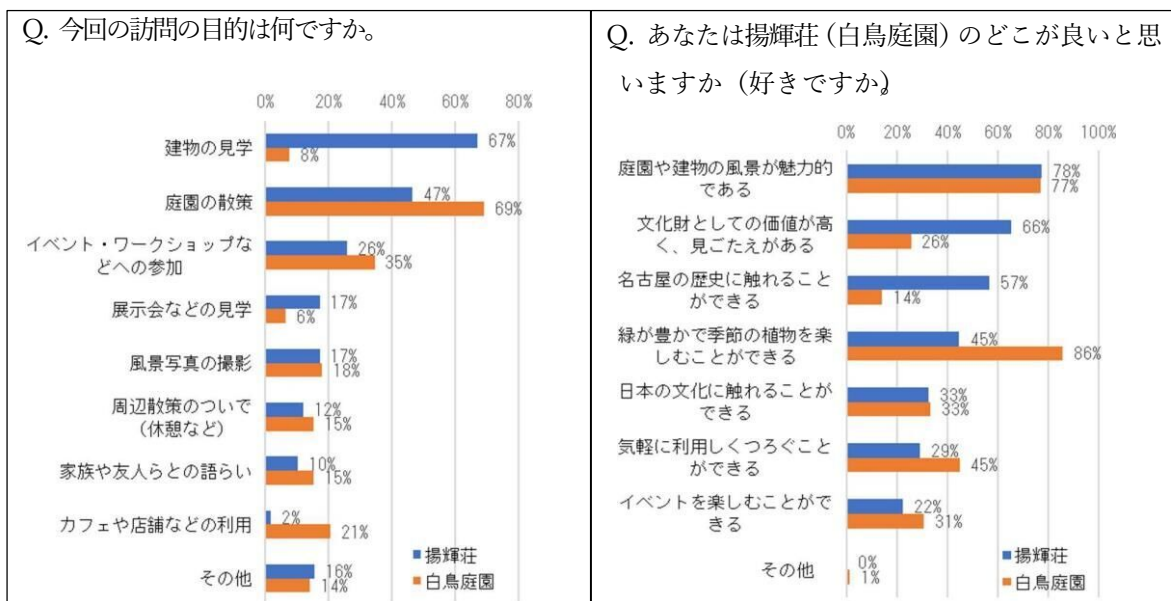
揚輝荘への来訪者に協力を呼びかけ、スマホ等により二次元バーコードを読み取り回答、回答件数：揚輝荘 58 件、白鳥庭園 78 件

【調査 C】 商店街来訪者アンケート（R5.10.1～10.31）

覚王山商店街店舗への来訪者に協力を呼びかけ、スマホ等により二次元バーコードを読み取り回答、答件数：93 件

訪問の目的／揚輝荘・白鳥庭園の良いところ【調査 B】

揚輝荘では建物の見学を主目的とし、建物の価値や歴史を評価する者が多いのに対し、白鳥庭園では庭園の散策を主目的とし、緑を評価する者が多い。

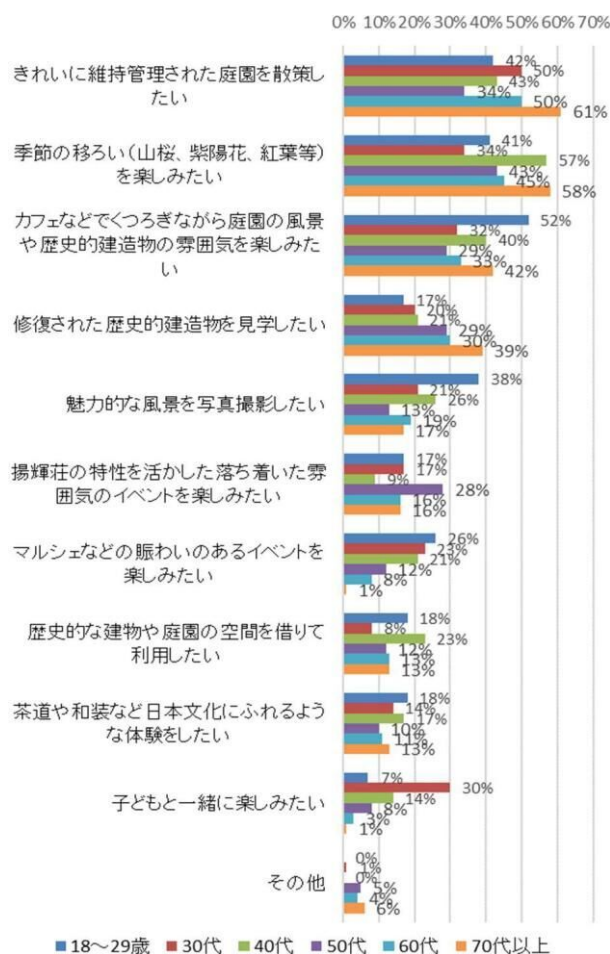


利用したい施設【調査 A】【調査 B】【調査 C】

いずれの調査でも上位「きれいに維持管理された庭園を散歩したい」、「季節の移ろい（山桜、紫陽花、紅葉等）を味わいたい」、「カフェなどでくつろぎながら庭園の風景や歴史的建造物の雰囲気を楽しみたい」は同じでした。一方で年齢が高くなるほど「修復された歴史的建造物を見学したい」というニーズが高まり、逆に年齢が低いほど「マルシェなど賑わいのあるイベントを楽しみたい」というニーズが高く、世代別のニーズの違いが特筆できます。

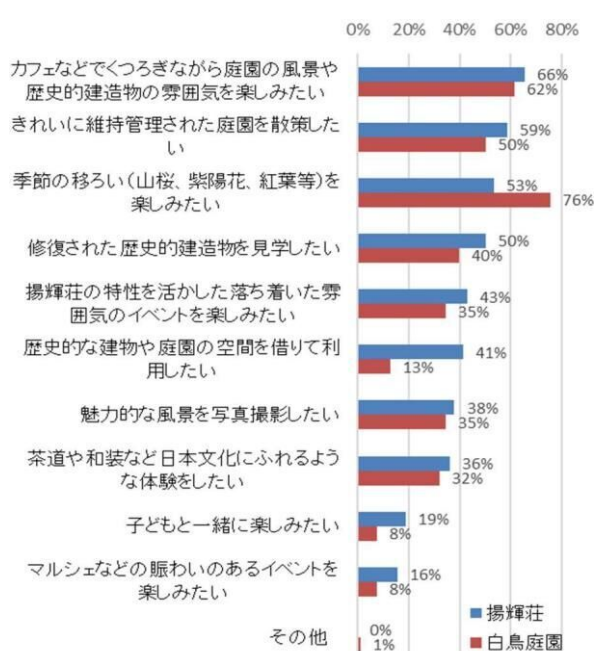
【調査 A】

Q.どのような施設であれば利用したいですか。



【調査 B】

Q.どのような施設であれば利用したいですか。



【調査 C】

Q.どのような施設であれば利用したいですか。

